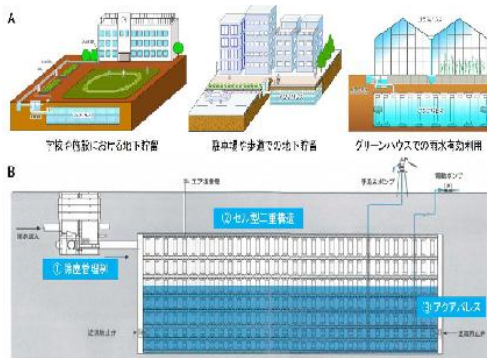


プラスチック製地下貯留システムによる雨水資源化

～水の有効利用にむけて～

国際協力機構（JICA）は11月14日、「中小企業連携促進基礎調査」において、株式会社トーテツ（東京都）が提案する「水の需給ギャップを埋めるプラスチック製雨水地下貯留システムの製造販売事業調査（中小企業連携促進）」（インド国）を採択しました。

インドでは急激な人口成長と経済発展により水不足が深刻化しています。同国は、雨季と乾季が存在するため、雨季における雨水の効果的な貯留が求められていますが、従来工法による地下貯留方式では建設コストが高いことなどから、雨水の地下貯留は進んでいませんでした。



提案製品・技術 「ユニバーサル地下貯留システム」とその組立材

上記のような課題に対し株式会社トーテツは、組立性能や耐圧性に優れていて雨水を長期間に亘って安全に貯水できる、安価なプラスチック製地下貯留システム「ユニバーサル地下貯留システム」を提案しています。本製品を、同国タミルナドゥ州の工業団地や公共施設などに普及することで、水の有効利用に貢献することが期待されています。

この調査は、我が国の中小企業を対象とした「中小企業連携促進基礎調査」として実施されます。本スキームは、優れた製品や技術力を有する中小企業が途上国に進出することによる開発課題解決の可能性及びODA事業との連携可能性を検討するためのものです。検討に必要な基礎情報の収集と海外展開事業計画の策定を目的としています。2014年度は本年7月に公示を行い、61件の応募のうち10件が採択されました。今後の契約交渉を経て契約に至ったものから、順次調査を実施します。